

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音			-		-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>1.0</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.7</b>
2.1 室温制御		<b>1.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	1.00			
1 室温		1.0	0.63	-	-			
2 外皮性能		1.0	0.38	3.0	1.00			
3 ゾーン別制御性		3.0	-	3.0	-			
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	-	-			
2.3 空調方式		<b>1.0</b>	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.8</b>	0.25	<b>3.5</b>	1.00			<b>3.4</b>
3.1 昼光利用		<b>4.2</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50			
1 昼光率	昼光率は共用部(エントランス)3.94 住戸(DタイプLD)2.85	5.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口		3.0	0.40	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50			
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	-	-			
3.4 照明制御		<b>1.0</b>	0.25	-	-			
<b>4 空気環境</b>		<b>2.6</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00			<b>3.2</b>
4.1 発生源対策		<b>3.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	住宅の使用建材はほとんど全てにF☆☆☆☆ランクを使用	3.0	1.00	4.0	1.00			
4.2 換気		<b>2.0</b>	0.40	<b>2.3</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	1.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理			-		-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	-	3.0	-			
2 喫煙の制御		3.0	-	3.0	-			
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>					<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.1</b>	0.40	<b>3.2</b>	1.00			<b>3.0</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>4.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応	100Mbitクラスのプロードバンド設備の対応が可能	3.0	-	4.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	3.0	-			
1.2 心理性・快適性		<b>1.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40			
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	3.0	-			
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		<b>2.0</b>	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		2.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50					
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.30					<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.0</b>	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.8	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備		2.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性				2.6	0.30	2.8	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり								
	1	階高のゆとり				2.6	0.50	
	2	空間の形状・自由さ				3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ				2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり						3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				2.6	1.00			
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
	5	設備機器の更新性		1.0	0.20		-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				2.0	0.40		-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30		-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	0.20		-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.95	4.5	0.50		-	4.5
	集合住宅以外の評価(3a.3b)						-	
	集合住宅の評価(3c)		LED照明を採用している	4.5	1.00		-	
4 効率的運用				3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価						-	
	4.1	モニタリング					-	
	4.2	運用管理体制					-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00		-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護				3.4	0.20		-	3.4
	1.1 節水		節水便器を採用	4.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00		-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-		-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.6	0.60		-	2.6
	2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上材が容易に分離可能なGL工法を採用している	4.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.0	0.20		-	2.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			1.6	0.70		-	
	1	消火剤		2.0	0.33		-	
	2	発泡剤(断熱材等)		1.0	0.33		-	
	3	冷媒		2.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率=81%としている	3.7	0.33		-	3.7
2 地域環境への配慮				2.8	0.33		-	2.8
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	3	交通負荷抑制		2.0	0.25		-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
	1	騒音		3.0	1.00		-	
	2	振動		-	-		-	
	3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40		-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
	2	砂塵の抑制					-	
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
	2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	